

北海道音更町における第2期基本計画の概要

計画のポイント

音更町は、第一次産業の農業が基幹産業であり、令和3年の農業産出額（推計）は約251億円、耕地面積2万4,300haを有し、畜産部門は、一戸当たり家畜飼養頭数が全国平均を大きく上回っている。また、本町で生まれた「音更大袖振大豆」は、機能性研究を行い、実需者などに成果を周知するなど、作付維持・拡大、ブランド化を図っている。これら豊富な農畜産物資源を背景に、食料品製造業が集積している。

この地域特性を活用し、農産物を地域で加工し、付加価値を高める取組を強化することで、地域事業者の稼ぐ力の向上を図っていく。

また、開湯124年の歴史を持ち北海道遺産にも登録されているモール温泉を主要な観光資源として、町内2箇所の道の駅との相乗効果、滞在型、参加・体験型の観光メニューの充実により交流人口の拡大させ、農畜産加工品の販売を通じたブランド力強化を図り、域内経済の好循環・活性化を目指していく。

促進区域

北海道音更町

経済的効果の目標

1件あたり平均47百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を3件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.43倍の波及効果を与え、促進区域での201百万円の付加価値額の創出を目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～③のいずれか）】

- ①音更町の音更大袖振大豆等の特産物を活用した農林水産分野
- ②音更町の音更大袖振大豆等の特産物を活用した食料品等製造分野
- ③音更町の十勝川温泉等の観光資源を活用した観光分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,611万円超

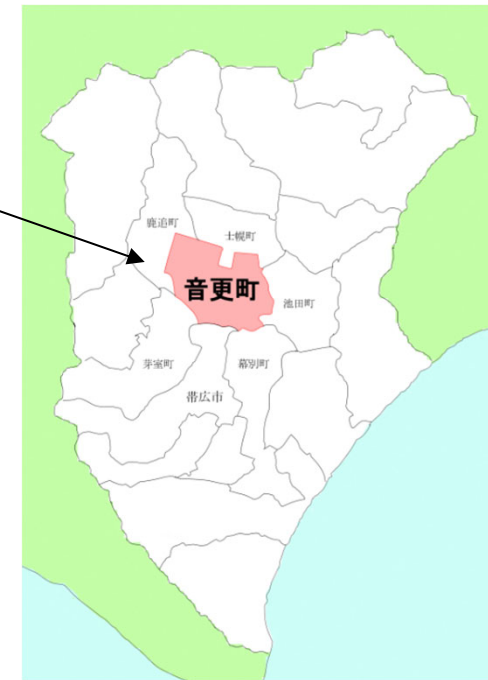
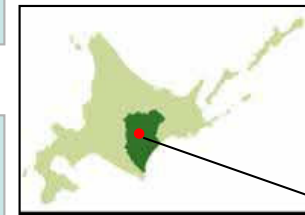
【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上：8%増加
- 雇用者数：2%増加

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税、固定資産税の減免措置
- ・公共データの民間公開、事業者からの事業環境整備の提案への対応、産業用地の確保に向けた支援体制の整備

《促進区域図》



地域経済牽引支援機関

帯広畜産大学、（公財）とかち財団

計画期間

計画同意の日から令和10年度末日まで